

# 今津 赤だより

## 目次

年頭のご挨拶 .....	1
高齢者が在宅でいきいきと暮らせるように .....	2
病棟紹介 .....	3
検査技術課の紹介 .....	5
放射線技術課便り .....	5
第4回 連携医リレー紹介 .....	6
福岡マラソン救護を通して .....	6



### \* 病院理念 \*

\* 基本理念 私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

\* 基本方針

1. 地域医療

地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。

2. 全人的医療

病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。

3. 医療と福祉の架け橋

医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。



今津赤十字病院

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 一年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年のお正月は比較的暖かく、皆様穏やかな新年を迎えられたことと存じます。平成28年(2016年)の年頭にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

昨年は一昨年に引き続き日本人科学者がノーベル賞(医学生理学賞、物理学賞)を受賞され、日本の科学の底力を感じました。特にノーベル医学生理学賞を受賞された大村智先生の開発された寄生虫の特効薬は、アフリカで多くの住民を救ったのみならず、日本の医療現場でも皮膚病治療薬として大いに活躍しています。また、ラグビーワールドカップでの五郎丸選手を始めと

する日本代表の活躍、地元ではソフトバンク・ホークスの連覇など明るい話題も続きました。一方で、鬼怒川の氾濫は常総市に津波を思い起こさせる甚大な被害をもたらしました。豪雨の被災地と、そしてまもなく発災から5年目を迎える東日本大震災の被災地の一日も早い復興を祈念しております。

医療の分野では高齢化のピークに近づく2025年に向けての医療・介護提供体制の構築が引き続き大きな課題となっております。その中でも地域で高齢者を支えていくという地域包括ケアの概念が提唱され、その実現に向けた取り組みが始まっています。高齢者医療・認知症医療を主体としている当院でも、一昨年早速、地域包括ケア病床を立ち上げましたが、本年は、同病床の増床を図るため、3病棟全体を地域包括ケア病棟に変更し、機能を充実させます。地域包括ケア病床では、急性期後のハビリテーションはもちろんですが、肺炎等の急性期疾患の治療も積極的に行っています。さらには当院の訪問看護ステーションとも連携して、在宅療養に向けた支援も行っています。また、昨年放射線機器を更新し、生活習慣病予防健診の画像検査が迅速に行えるようになり、健診のさらなる受け入れが可能となりました。今後とも当院では、予防から急性期、回復期、慢性期医療、さらには在宅への橋渡しまで、幅広い高齢者医療に取り組んでいきたいと思っております。

以上、当院は今年も病院機能をさらに充実させて、地域の皆様が必要としている医療を提供し、地域の皆様に安心感を与えられる病院になるよう努めて参りたいと存じます。最後になりますが、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



院長

ふじ い こう し  
藤井弘二

# 高齢者が在宅で いきいきと暮らせるように

新年あけましておめでとうございます。穏やかな幸せなお正月を迎えられたことと存じます。

今年は診療報酬改定の年であり、「日本が迎えつつある超高齢社会では、複数の疾患を持ち、医療と介護の両方が必要な高齢者が予想されており、病気と共存しながら生活の質を維持し、生活全体を視野に入れた“治し、支える”医療、尊厳をもって人生の最終段階を迎えることを支える医療などの視点が重要となる」と言われています。当院にとっては、高齢者の医療と看護・介護が適切に提供できる体制の構築が迫られています。

今津赤十字病院は、高齢者が在宅で生き生きと暮らせるように、特に認知症デイケアの充実、訪問看護・訪問リハの充実に取り組んでいます。

当院のデイケアは、医療保険で年間361日開催しており、長期に多数の方が利用されておられます。時折研修に来られる外国の方々は、日本の高齢社会の仕組みを見学され、当院のデイケアに感嘆されます。それは、高齢者が社会との交流を持って自分のできることを懸命に実施し楽しそうにいきいきとし、かつ認知症の進行をゆるやかにしているからです。また家族の方々に、認知症の進行に合わせて個別的にケアのアドバイス・介護サービスの紹介もしているからです。

同時に、訪問診療・訪問看護の仕組みにも興味を持たれています。医療者が自宅まで出向いていくこと・家族以外の人からケアを受けていることに驚かれます。今でも利用当初は自宅訪問に抵抗はありますが、ケアを体験すること・良い信頼関係を築くことで薄らぐのだと思います。また、家または施設等の住み慣れた場所で生活することは幸せな時間だと思います。

このように在宅に向けての取り組みは確実に進んでいます。今後今津赤十字病院はもっと地域に出向き、皆様の声に耳を傾け、私たちのできることに励まなければなりません。たとえば、健康講座の開催・看護介護の相談・災害救急時の対応・ボランティアの育成等、病院としてかつ赤十字としての活動が求められていると考えています。微力ではありますが、高齢者の皆様がいつまでも在宅でいきいきと暮らせるお手伝いをしたいと思っています。いつでもお気軽にご相談ください。



看護部長

みやざき くにこ

宮崎久仁子



重度認知症デイケアの  
パンフレットができました。

# 病棟紹介

## 障害者施設等病棟

1病棟は平成18年より障害者施設等病棟の施設基準を取得し、パーキンソン病・筋委縮性側索硬化症をはじめとする神経難病の患者様や、脊髄損傷等により重度の障害を抱えられた患者様の長期入院をお受けしています。さらに平成23年度にはベッド数を増床し、現在、近隣地域より年間30名以上の在宅療養患者様の緊急入院対応も可能になりました。

この病棟を必要とされる患者様は、事故や病気により日常生活がご自分の意思では困難となられた方、また、病状進行に伴い徐々に会話も困難となり、しだいに人工呼吸器装着が必要になっていかれる方が多く、ご本人もご家族も計り知れない苦悩を抱えておられます。看護師はアイコンタクトや文字盤、さらに多

様なコミュニケーション機器を使用し、患者様やご家族様の思いに耳を傾け、患者様お一人おひとりが”その人らしい生活”をできる限り長く送って頂ける一助となれるよう務めております。長期にわたる入院を余儀なくされている患者様やご家族様が今後も安心して入院生活を送って頂けるよう、温かい心配りで看護・介護を提供できるよう日々心掛けていきたいと考えております。

## 1病棟



1病棟師長

なが い ち はる  
永井千治

## 地域包括ケア病棟

3病棟は地域包括ケア病棟である「地域包括ケア病床」について、ご紹介いたします。

当病棟は主に肺炎や脳梗塞の患者様が多く、治療やリハビリと療養支援を行う病棟です。高齢者の特性として、病気が長引いたり再発を繰り返したりすることも多く、さらに複数の慢性疾患を併せ持つ傾向にあります。当病棟の特性としては、他の病院では入院継続が困難な軽度の認知症がある患者様の入院も受け入れ、対応を行っています。

一般的には入院して治癒および軽快の状態に回復されると、退院となります。しかし、高齢者においては自宅療養における介護保険サービス等の調整や、特別養護老人ホーム等への施設入所に向けた準備期間が必要になります。この準備期間に治療やリハビリを継続しながら療養して頂く「地域包括ケア病床」をご案内しております。

このように安心して生活できる場所(環境)への支援がスムーズにいくように、入院された時から退院後の生活をイメージした、患者様・ご家族様中心のチーム医療(医師・看護師・リハビリ他)を行っています。

お悩みのことや疑問に思うことなどありましたら、お気軽にお声かけください。

## 3病棟



3病棟師長

お の てつ お  
小野哲雄

## 精神科一般病棟・認知症専門病棟

2病棟は精神科閉鎖治療病棟で、患者様のほとんどが認知症の症状コントロールを目的に入院されています。現在20名の看護師2名の介護福祉士11名のケアワーカーその他、精神保健福祉士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士とチームケアを行っています。

認知症の患者様は、「できていたことに時間がかかったり、できなくなる」また「理解に時間がかかったり、わからなくなる」ことが増えていきます。そういう状況に喪失感や大きな不安を感じているといわれています。

入院中の患者様は気分の動揺があり、そこには患者様個人の生活史や価値観が影響しています。私達チームメンバーは、患者様の意欲(願い・望み)に少しでも近づけるような関わりを目指しています。その一つとして、精神科作業療法を月曜から土曜日まで実施し、趣味が継続できる工夫や活動の中で役割意識をもてる経験を重ねることで、機能の維持向上「出来る事の維持」と精神の安定「笑顔とやりがい」を増やしていきたいと考えています。ご家族から、患者様の事をお聞かせいただき、ケアに活かしていきたいと思っております。どうぞご協力お願いいたします。

また、当院には認知症を専門とした認定看護師や認知症ケア専門士もおります。お困りの事などありましたら、お気軽にお声かけください。



2病棟師長

しら き じゅん こ  
**白木 潤子**

# 2病棟

## 介護療養病棟(介護療養・医療療養)

5病棟は、医療保険(医療療養病床)と介護保険(介護療養病床)が適応となる病棟です。医療療養は11床、介護療養19床で、いずれも急性期治療が安定し医療施設で療養が必要な患者様が入院される病棟です。医療療養は、床ずれの治療中の方や、酸素療法・痰の吸引が多い方がおられます。介護療養は、日常生活のお世話を中心とし、より安定した状態を維持でき、次の生活の場所に安心して行っただけのお世話をさせていただいております。

他の病棟とは違い、看護師と介護福祉士が同じ割合で配置されており、それぞれが学んだ知識や技術を活かし、患者様にとって最善のケアは何かを考え日々取り組んでいます。

高齢者には、長い歴史があり、大切にされてきた事も一人一人異なるため、可能な限りご家族とコミュニケーションを図り、お元気だった頃のお話を聞かせていただいております。その情報を基に、声掛けの工夫やレクリエーションの工夫を考え、また、お誕生日には、その方らしさを少しでも出せるようなお祝いができるよう努めています。

患者様は、お話ができない方も多くおられますが、表情や目の動き、手の動きなど様々な反応を示されます。スタッフは、患者様に分かりやすい言葉で話しかけ、その反応を引き出す事を得意としています。高齢者の方に一日一日を、毎日がベストな看護・介護が提供できるよう努めております。



5病棟師長

やま ぐち ま ゆ み  
**山口 真由美**

# 5病棟



# 検査技術課の紹介



にし むら よし き  
検査技術課長 **西村芳喜**

検査技術課の紹介をさせていただきます。

検査室の業務は、血液や尿、便などの検査材料をもとにして行う検体検査と、心電図や超音波、聴力、呼吸機能、眼底検査など患者さまと直接接して検査を行う生理検査に分けられます。また、検体検査では12月から3月頃にかけて依頼が増えるインフルエンザやノロウイルスの迅速検査も行っております。特にインフルエンザ検査試薬は約3分以内に陽性判定が可能となり、早期対応ができるようになりました。生理検査においては時々「何をされるのだろうか・・・」「痛いのだろうか・・・」などと不安や緊張される患者さまがおられますが、優しく説明を行い、安心して検査を受けていただけるように心がけています。当検査室では正確かつ迅速に、また安全に配慮しつつ、患者さまの診断や治療効果の判断など病態を把握するうえで重要となる検査データの提供に努めていきたいと考えています。



生化学検査室



血液検査



尿、血液検査(顕微鏡)



心電図検査



眼底検査



超音波検査  
(心臓、腹部、頸動脈)

## 放射線技術課便り

放射線技師課長  
み たに こう じ  
**三谷孝二**

放射線技術課の紹介をさせていただきます。当課は2名の放射線技師(男性1名・女性1名)で業務を行っております。業務の内容は、一般(レントゲン)撮影・CT検査・透視検査(胃透視や嚥下造影検査)です。

昨年7月に、一般撮影装置・回診用X線撮影装置・透視装置を更新し、レントゲン室の内装を一部リニューアルいたしました!!壁紙を柔らかな感じに、室内照明を明るいLED照明に変えて、患者さまにもっと快適に検査を受けていただけるように仕上げました。

明るく柔らかい  
雰囲気の写真室



回診用  
X線撮影装置



透視装置



いろいろな手作りの  
撮影補助具



当院に来られる患者さまは、寝たきりの方・円背や拘縮のある方・足腰の悪い方・皮膚の弱い方など多く、当課では撮影の際、手作りの固定具やクッションを使用し、患者さまの痛みや負担を軽減させながら撮影を行っています。

患者様から、「痛くなかった」「怖くなかった」、「楽だった」など言ってもらえると、心からうれしく思います。

三谷課長 尾前副院長  
北本技師

放射線課スタッフ

# 第4回 連携医リレー紹介

当院では、さまざまな医療機関との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各医療機関の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第4回目は、おくホームクリニック、にのさかクリニックです。

## にのさかクリニック(福岡市早良区野芥)

院長 ニノ坂 保喜 先生

早良区野芥の無床の在宅療養支援診療所で、開院は1996年。外来診療とともに、在宅医療・在宅での看取りに力をいれてきました。

在宅の患者さんは、高齢、がん、脳卒中後、神経難病、重度障害児・者などさまざま。在宅療養を継続するには、多職種連携とともに、介護者である家族のサポートが欠かせません。今津赤十字病院には、在宅患者の定期的なレスパイト入院でも大変お世話になっています。在宅療養を支援してくれる医療機関があることは患者さん・ご家族にとっても、私たち在宅医療スタッフにとっても心強いことです。



今津赤十字病院の公園



外観

2年前の春、今津赤十字病院の公園の桜が満開の時期に入院中の患者さんを訪問し、桜の美しさに大変感動しました。いつか当院の在宅患者さんたちと一緒に今津の桜を見たいと思っています。



## 医療法人千手会 おくホームクリニック(糸島市志摩稲留)

院長 奥 研二 先生

当院は、まだまだ少ない在宅訪問診療を主体としたクリニックです。人は誰もが、病気であれ老化であれ、最後は自分自身の自己管理が出来なくなってしまいます。身体が利かなくなればなるほど、精神面の充実が患者さんには必要であると私たちは考えています。そんな患者さんの「家族と一緒に過ごしたい…」「自宅でゆつくりと療養したい…」という願いを叶えたいとの想いでおくホームクリニックを開院いたしました。少しでも多くの方に「在宅訪問診療」の存在を知っていただき幸せな余生を送ってほしいと願っています。在宅訪問診療を希望される患者様は脳血管障害梗塞後遺症、パーキンソン病などの変性疾患、癌終末期、脳性麻痺等、種々の病気で通院困難な方です。在宅医療の現場では、在宅酸素療法、在宅中心静脈栄養管理、胃瘻管理、排便コントロール、疼痛管理等を主に行っておりますが、それを行うためには多職種(訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護、入浴サービス)の連携とご家族の愛情と介護力が必要です。今津赤十字病院には訪問看護サービス、患者さまの検査入院、ご家族の介護疲れをとっていただくための患者様の短期入院など多方面でお世話になっております。本当に頼れる病院だと感謝しております。これからも、今津赤十字病院の皆様とともに地域の患者様が自宅で心豊かに過ごせるように尽力してまいります。



小川師長

## “福岡マラソン救護”を通して

理学療法士 奥田 彰<sup>あきら</sup>

## 福岡マラソンに参加して

11月8日に開催された第2回福岡マラソンの救護員として当院から医師、看護師、理学療法士の合わせて4名が参加しました。当日は季節外れの暑さと日射しで、熱中症で歩けないランナー、足のけいれん、全身各所の痛みを訴えるランナーの救急搬送や処置を行いました。私は理学療法士として、けいれんした筋肉のストレッチをメインに治療し、出来る限り早急な痛みの軽減に努めました。この経験を通して、赤十字の役割の大きさ、人の苦しみを軽く出来る喜びと充実感を得る貴重な経験が出来ました。



当院より、尾前副院長・病棟看護師・リハビリ・訪問看護・地域医療連携室の精鋭総勢7名が福岡マラソンにチャレンジし、全員が完走しました。



## 診療案内

- ◆診療科目／内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
  - ◆受付時間／(月曜日～金曜日)午前8時30分～午前11時30分及び午後1時30分～午後3時30分
  - ◆休診日／土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

## 今津赤十字病院 外来診療担当表

平成27年10月1日から

診療科目		月	火	水	木	金	土	日	
内科	午前	初診	浦江 晋平	尾前・友原	関 拓紀	菰田 圭佑	浦江 晋平	/	/
		再診	尾前 豪	藤井 弘二	藤井 弘二	藤井弘二(生活習慣病)	藤井 弘二		
			納富 昭光	尾前 豪	市島 久仁彦	市島 久仁彦			
	午後(初診及び再診)	古瀬 正徳	市島 久仁彦	関 拓紀	菰田 圭佑	友原 沙織			
精神科	午前(再診のみ)	田中 和宏	牧 篤	勝冶 一夫	勝冶 一夫	本田 慎一	デイケアのみ	デイケアのみ	
	午後(認知症外来(新患・予約制))	勝冶 一夫 牧 篤	勝冶 一夫 畑部 暢三	勝冶 一夫 牧 篤	勝冶 一夫	勝冶 一夫 牧 篤			

## 交通アクセス

### ◆JRでのアクセス

・JR九大学研都市駅下車の場合  
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。  
(下記時刻表を参照ください)

・JR今宿駅下車の場合  
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩約10分

### ◆お車でのアクセス

・西九州自動車道今宿ICより約10分



## 無料送迎バス

◆送迎時刻表／ JR九大学研都市駅南口前より、無料送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
病院→JR九大学研都市駅南口前		8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:45
JR九大学研都市駅南口前→病院		9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	○	—	—	—	○	—

※平成27年2月1日改正



▲病院ホームページはこちらからアクセス!



JR九大学研都市駅南口前です。



今津赤十字病院

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

〒819-0165 福岡市西区今津377番地  
TEL(092)806-2111(代表) FAX(092)806-2314  
ホームページ <http://www.fukuoka.jrc.or.jp/imazu/>

広報誌／今津日赤だよりvol.25  
発行日／平成28年2月29日  
発行責任者／藤井 弘二  
編集委員長／武田 義夫  
発行／今津赤十字病院